

令和8(2026)年度登録アーティスト(ソロ・デュオの順。50音順)

**●浅井信好(あさい・のぶよし)**  
 2005年～2011年まで《山海塾》に所属。2010年ポーラ美術振興財団在外研修員でベルリンへ派遣。2011年に文化庁新進芸術家研修制度でイスラエルの《バトシェバ舞踊団》に派遣。2012年よりパリを拠点に《PIERRE MIROIR》を主宰。2016年に日本へ帰国後、《月灯りの移動劇場》を主宰するとともに、地域交流拠点《PALET.NU》のクリエイティブ・ディレクターを務める。現在、名古屋芸術大学舞台芸術領域准教授。2013年ARTE ART PRIZE LAGUNA12.13 特別賞、2014年愛知県芸術文化選奨新人賞などを受賞。

**●井田亜彩実(いだ・あさみ)**  
 ダンスカンパニー“Arche”(アルケ) 主宰。筑波大、筑波大学院舞踊コースにて舞踊学を学ぶ。文化庁新進芸術家海外留学制度によりイスラエルへ留学し、2014年～2018年、イスラエルのプロダクションカンパニー“MARIKONG”に所属する。現在は「人との繋がり」をテーマに、全国各地でWS講師やレジデンス、作品創作・発表を行う。またダンスのプロリーグ「Dリーグ」での作品ディレクションや、劇団への振付など、多角的に活動。横浜ダンスコレクション・コンペティション1奨励賞(2021)、International Competition of Modern Choreography in Vitebsk 第1位(2012)。信州大学教育学部非常勤講師。

**●岩淵貞太(いわぶち・ていた)**  
 振付家・ダンサー。玉川大学で演劇を専攻、並行して日本舞踊と舞踏も学ぶ。2007年より2015年まで故・室伏鴻の舞踏公演に出演、今日に及ぶ深い影響を受ける。2005年より「身体の構造」「空間や音楽と身体との相互作用」に着目した作品を創りはじめる。横浜ダンスコレクションEX2012にて、『Hetero』(共同振付・関かおり) が在日フランス大使館賞受賞。舞踏や武術をベースに日本人の身体と感性を生かし、生物学・脳科学等から触発された「恍惚身体論」開発。桜美林大学、玉川大学非常勤講師。DaBYレジデンスアーティスト。

**●黒須育海(くろす・いくみ)**  
 ダンスカンパニー「ブッシュマン」主宰。2018年からコンドルズ参戦。異形な身体を探索する独自の世界観で話題に。身体の気づきとコミュニケーションを大切にWSを展開。全国各地で子ども～シニア、障がいのある関係なく参加できる市民参加型作品にも取り組んでいる。特別支援学校に10年間務めた後、大学非常勤講師を務める。横浜ダンスコレクションEX2015シビウ国際演劇祭賞、Touchpoint Art Foundation賞受賞。ハンガリー、ルーマニア等に招聘される。2020年に第14回日本ダンスフォーラム賞、2023年にエルスール財団新人賞受賞、2024年に舞踊批評家協会新人賞を受賞。

**●橋本真那(はしもと・まな)**  
 神奈川県出身。国立台湾芸術大学表演芸術学部舞踊学科卒業。東京藝術大学美術研究科先端芸術表現専攻在籍。他者を通じて自己を知ることの創作の軸とし、コンテンポラリーダンスを用いたパフォーマンス作品の制作や交流プロジェクトの実施を行う。主な作品に「パトリオティズム」(YDC/2021)、「DEAR NEIGHBOR (COMMA)」(BUoY/2024)、「A THEATER」(クマ財団/2025)など。これまでに2019年日台文化交流青少年スカラーシップ大賞、2021年ヨコハマダンスコレクション新人振付家部門奨励賞などを受賞。クマ財団8期生。急な坂スタジオサポートアーティスト。

**●康本雅子(やすもと・まさこ)**  
 はじまりはダンサー、いつの間にか振付家、やめられんのがダンサー。その昔バックパッカー時代にアフリカダンスに出会い、セネガルへ。ダンス漬けの半年を送るも帰国後一文なしになりバックダンサーに。食うためのダンスだけじゃ飽き足りず、作品を作るようになって今に至る。演劇や映像などへの振り付けもやりつつライブワークは子供たちへのワークショップ。最近は小学生親子向けのWS「マジな性教育マジカ」も始動中。どっちもハウツウは教えない。

**●Von・noズ [上村有紀(かみむら・ゆうき)+久保佳絵(くぼ・かえ)]**  
 Von・noズ(読み方:ぼんのーず)は、上村有紀と久保佳絵によるコンテンポラリーダンスカンパニー。ダンスは動作による芸術であるという考えのもと、創作活動を行う。それぞれにクラシックバレエの経験があり、動きのベースとなっている。国内外で作品の上演を行うほか、近年はコラボレーションも多く行う。世代間交流を目的とした異世代へ向けたダンスワークショップや作品創作を行いながら、身体の可能性を探り続けている。



令和7(2025)年度事業日程(予定) 日程・主会場・アーティスト

A プログラム(地域交流プログラム)		
8.20～8.23	都城市総合文化ホール(宮崎県都城市)	康本雅子
9.10～9.13	宇土市民会館(熊本県宇土市)	岩淵貞太
9.17～9.20	天草市民センター(熊本県天草市)	Von・noズ
10.23～10.26	安来市総合文化ホール アルテピア(島根県安来市)	康本雅子
11.26～11.29	座間市市民体育館(神奈川県座間市)	橋本真那
12.17～12.20	いわき芸術文化交流館アリオス(福島県いわき市)	浅井信好

B プログラム(市民参加作品創作・公演プログラム)		
①1.23～1.25 ②2.17～2.22	市川市文化会館(千葉県市川市)	井田亜彩実

C プログラム(公演プログラム)		
7.10～7.13	菊川文化会館アエル(静岡県菊川市)	井田亜彩実
8.21～8.24	日立シビックセンター(茨城県日立市)	黒須育海
10.1～10.4	京都府立けいはんなホール(京都府精華町)	浅井信好
12.4～12.7	名護市民会館(沖縄県名護市)	黒須育海

申込方法 申込締切 5月30日(金) 必着

実施要綱をご覧ください。事業申込書に必要事項をご記入の上、郵送にてお申し込みください。  
 実施要綱及び各様式等は財団HPよりダウンロードしてください。  
<https://www.jafra.or.jp/project/dance/01.html>  
 ※プログラムによって様式が異なりますのでご注意ください。



●申込・問い合わせ先  
 一般財団法人地域創造 公共ホール現代ダンス活性化事業担当  
 (担当: 波多野・永田)  
 〒107-0052 東京都港区赤坂2-9-11 オリックス赤坂2丁目ビル9階  
 Tel:03-5573-4075・4077 Fax:03-5573-4060 E-mail:dankatsu@jafra.or.jp

# ダン活

公共ホール現代ダンス活性化事業

令和8年度  
 実施団体  
 募集

申込締切 令和7年5月30日(金) 必着

「公共ホール現代ダンス活性化事業(ダン活)」は、コンテンポラリーダンスのアーティストとコーディネーターを地域に派遣し、アーティストとホールが共同で企画した地域交流プログラムや公演を実施する事業です。  
 この事業には3つのプログラムがあり、公共ホールのビジョンに基づき、地域の特性を生かした取り組みについて段階的に支援を受けることができます。地域創造では、本事業を通じて公共ホールの利活用と地域の活性化、地域の文化事業の担い手の育成を支援しています。



**Aプログラム**  
 (地域交流プログラム)  
 学校や福祉施設等でのアウトリーチ  
 +  
 公募ワークショップ

**Bプログラム**  
 (市民参加作品創作・公演プログラム)  
 公募ワークショップ  
 +  
 市民参加作品を創作して上演

**Cプログラム**  
 (公演プログラム)  
 公募ワークショップ  
 +  
 レポートリー作品の上演  
 (リ・クリエーション作品含)

事業の詳細は、財団HPより実施要綱をご確認ください。  
 皆さまのご応募お待ちしております！

地域創造 ダン活



# ダン活 公共ホール現代ダンス活性化事業について

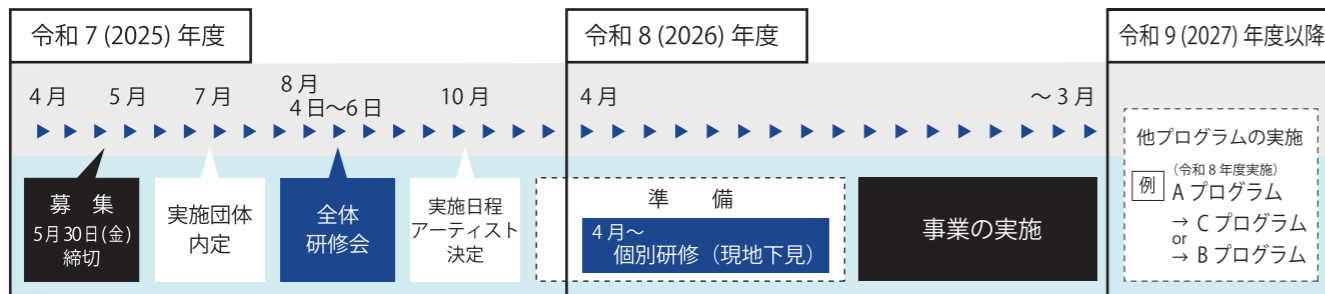
コンテンポラリーダンスのアーティストを地域に派遣し、専門家であるコーディネーターのサポートのもと、ホールとアーティストが共同で企画した地域交流プログラム（アウトリーチ等）や公演を実施します。3つのプログラムを各年度で段階的に選択し、継続的に事業を実施することができます。

## 対象団体

- ① 地方公共団体
- ② 地方自治法第244条の2第3項の規定に基づき指定管理者として指定を受け、公の施設の管理を行う法人その他の団体
- ③ 地域における文化・芸術活動の振興に資することを目的として設置された、公益財団法人等（②を除く）のうち、地方公共団体が資本金、基本金その他これに準ずるものを出資している法人で地域創造が特に認めるもの。

## 事業の流れ

事業の企画から実施までを、コーディネーターの派遣や全体研修会（事業実施前年度）の実施などでサポートします。



### 全体研修会

ダン活についての理解を深めるために、実施団体の担当者は全体研修会に参加していただきます。ダンス事業の企画・制作のノウハウを学び、登録アーティストによるプレゼンテーションを見て企画内容を整理し組み立てます。B・Cプログラムを実施する場合は、全体研修会を通して派遣を希望するアーティストを検討します。(Aプログラムで派遣するアーティストは地域創造にてマッチングを行います。)

※旅費・滞在費等は実施団体負担です。

### 個別研修（現地下見）

アーティスト、コーディネーター等を現地に派遣し、事業を実施する会場の下見や事業関係者とプログラム内容、広報プラン等について打合せを行います。ダンス事業についての理解を深めるために、登録アーティストによる関係者を対象にしたダンスワークショップ（インリーチ）を実施することも可能です。

※インリーチの実施にかかる謝金は実施団体負担です。

## 経費負担 以下の経費を地域創造が負担します。

- 登録アーティスト、アシスタント（共演者）、テクニカルスタッフ等の派遣経費\*
  - 出演料等・交通費（現地移動費を除く）・宿泊費・日当・損害保険料を、登録アーティスト等へ直接支払います。
  - ※テクニカルスタッフはB・Cプログラム実施時、公演準備のサポート役として必要と判断されるテクニカルスタッフ、演出助手や制作者及びその他地域創造が認めた者を指します。各プログラムで経費負担の対象となる派遣人数等は右ページでご確認ください。
- 公演負担金（BおよびCプログラムのみ）
  - 実施団体が支出した事業実施に係る経費のうち、対象経費の2/3以内で、50万円を上限に実施団体に対して負担します。対象経費は実施要綱をご覧ください。

### ホールが負担する経費

現地移動費、照明等オペレーター、仕込・撤収に必要な現地スタッフ経費、広報宣伝費（チラシ・ポスター・チケット作成費など）、著作権使用料、ダン活の内容を超えて事業を行った場合に発生する経費など

※実施するプログラムによって負担する経費が異なります。

## ダン活実施後は…

### 公共ホール現代ダンス活性化支援事業

ダン活終了後、ノウハウを活かして同様の事業を継続して実施する団体に対し、財政的な支援を行うフォローアップ事業です。

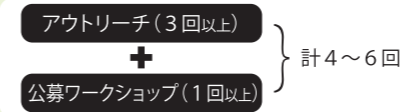
## プログラム内容

3種類のプログラムを継続して実施できます。ホールのニーズに沿って展開できるよう実施順は問いません。

※同一プログラムは2回以上実施できません。

### A プログラム（地域交流プログラム）

4日間でアウトリーチと公募ワークショップ（計4～6回）を実施します。



A 京都府立けいはんなホール (中村蓉/企業でのアウトリーチ)

#### <事業実施例>

1日目	2日目	3日目	4日目
	アウトリーチ①	アウトリーチ③	公募ワークショップ
移動	アウトリーチ②	アウトリーチ④	移動

4日間

#### <派遣する登録アーティスト等>

登録アーティスト(ソロ) … 1名  
 “ (デュオ) … 2名  
 アシスタント(ソロの場合) … 1名まで



A 岐阜市文化センター (長与江里奈/小学校でのアウトリーチ)



A 市川市文化会館 (浅井信好/公募ワークショップ)

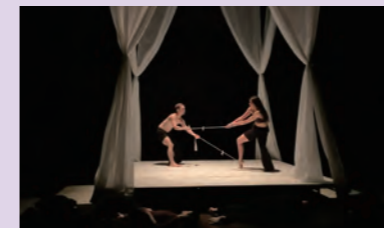
### B プログラム（市民参加作品創作・公演プログラム）

全9日間の事業日程を3日間+6日間などの2回に分けてクリエイションワークショップを重ね、市民参加作品を創作・上演します。

公募ワークショップ(1回)

有料公演(1回)

※入場料収入は実施団体に帰属します。



B 日立シビックセンター (大島匡史朗/『歳年人同じからず』)

#### <事業実施例>

1日目	2日目	3日目
	テクニカル打合せ	クリエイション
移動	クリエイション	移動
公募ワークショップ		

\*全9日間を3日間+6日間で分けた場合

1日目	2日目	3日目	4日目	5日目	6日目
	仕込み	仕込み	仕込み		通し
移動				リハ・ゲネ	公演
クリエイション	クリエイション	クリエイション	クリエイション		

#### <派遣する登録アーティスト等>

登録アーティスト(ソロ) … 1名  
 “ (デュオ) … 2名  
 クリエーションのためのアシスタント(共演者)(ソロの場合) … 2名まで  
 (デュオの場合) … 1名まで  
 テクニカルスタッフ等 … 1名まで



B アイム・ユニバース だこホール (マニシア/市民参加作品クリエイション)

### C プログラム（公演プログラム）

4日間でアーティストのレパトリー作品（リ・クリエイション作品含む）を上演します。

公募ワークショップ(1回)

有料公演(1回)

※入場料収入は実施団体に帰属します。



C 東広島芸術文化ホールくら (井田亜彩実/公募ワークショップ)

#### <事業実施例>

1日目	2日目	3日目	4日目
	仕込み	リハ	通し
移動			公演
公募ワークショップ	リハ	ゲネ	

4日間

#### <派遣する登録アーティスト等>

登録アーティスト(ソロ) … 1名  
 “ (デュオ) … 2名  
 共演者(ソロの場合) … 2名まで  
 “ (デュオの場合) … 1名まで  
 テクニカルスタッフ等 … 1名まで



C 茅ヶ崎市民文化会館 (藤田善宏/『CAT-A-TACのアソビシアター』)



C フェニーチェ堺 (康本雅子/『子ら子ら』)